

## 付録-5 詳細点検報告書作成要領

詳細点検調書（その1）		総合検査結果		●●共同溝				●●年度 道路施設点検調査等業務委託		業者名		●●コンサルタンツ(株)		点検者名		△△▲▲	
管理番号	共同溝-●●●	工営所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日								
施設名称	●●共同溝	延長	530.8m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称			所在地	起	◎◎区◆◆町●-▲				
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託										終	◎◎区◆◆町●-▲					

● 本市貸与資料を転記すること。

点検の結果から、下記に示す損傷があった。それぞれについて、考えられる原因と対策を述べる。

<コンクリート構造物>

(原因)

- ・側壁及び頂版Coのひび割れは、初期収縮によるものと考えられる。
- ・側壁及び頂版Coの漏水・遊離石灰は浸水により打継箇所から析出。
- ・側壁及び頂版Coの剥離・露筋は、施工不良(かぶり不足)と考えられる。

<路面>

- ・調整Coにて変状が確認されたが、底版Coは健全と推測される。

<附属物>

- ・事業者占用物の設置状況は健全。
- ・配線等の添架物は健全。

<排水施設>

- ・現在のところ損傷は見られない。

<その他>

【総評】

- ・●●共同溝は、シールド工法により構築された構造物である。
- ・Co表面には、樹脂Moが設置されておりCoのひび割れは、擁壁本体から発生したひび割れが、この樹脂Mo表面に現れたものである。
- ・表面の樹脂Mo部分のひび割れは、カビなどにより黒く変色しており、ひび割れ幅は、一見大きく見えるが、擁壁本体のひび割れは、0.1mm程度であり、さほど大きくは無い。

左記を踏まえて、全体の評価をコメントすること。

- ・損傷が生じている部位、状況を詳細に表現すること。
- ・損傷が生じるメカニズムを可能な限り表現すること。

・各部位ごとの所見を述べること。

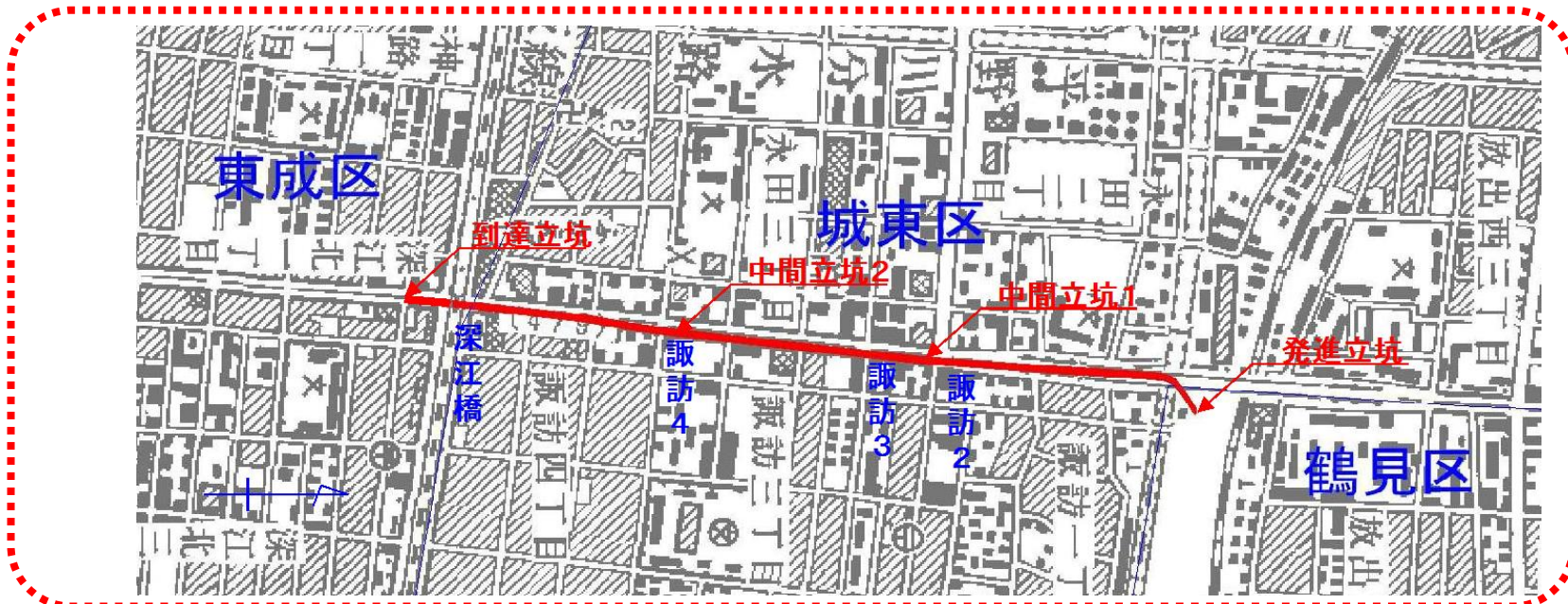
詳細点検総合結果

詳細点検調書（その2） 構造一般図・位置図

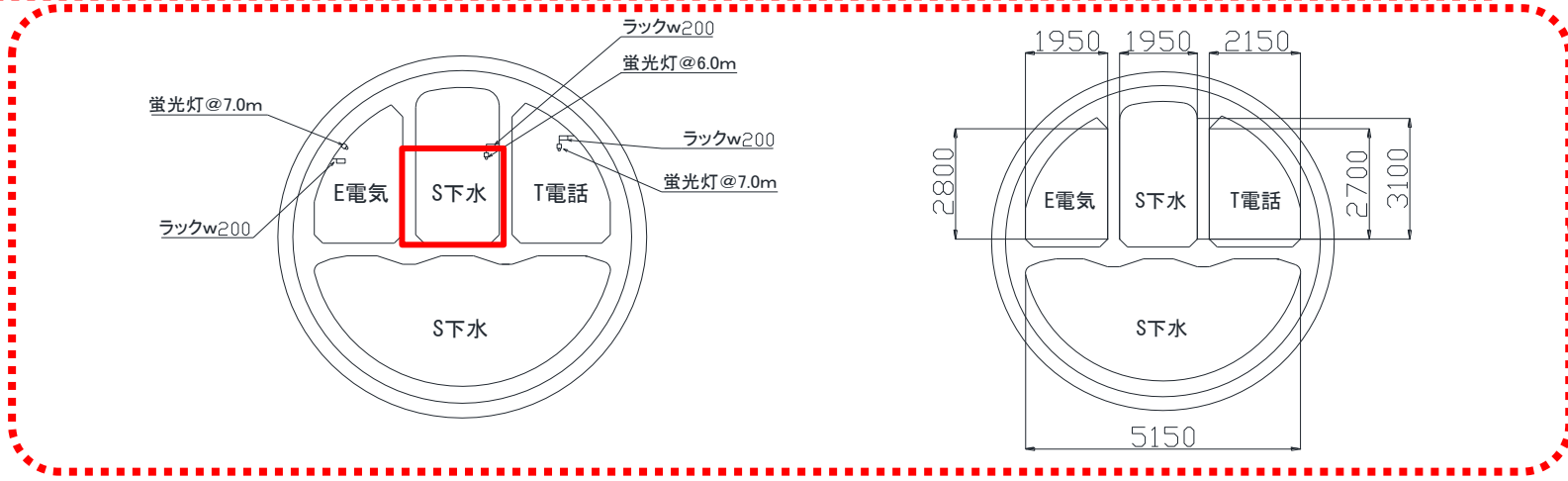
・本市貸与資料を転記すること。

管理番号	共同溝-●●●	正當所	◆◆	路線名	市道 ●●●線	監督職員	●●●●	点検日	平成●●年△月◆日
施設名称	●●共同溝	延長	530.8m	幅員	8.5m	建設年	●●年	交差対象物名称	
委託名	平成●●年度 道路施設点検調査等業務委託			業者名	●●コンサルタンツ(株)		点検者名	△△▲▲	所在地
									起 ◎◎区◆◆町●-▲
									終 ◎◎区◆◆町●-▲

構造一般図・位置記号・部材記号



・位置図を上  
に構造一般図を  
下に掲載する



詳細点検調書（その3） 現地状況写真

管理番号		工営所		路線名		建設年		点検日	
施設名称		延長		幅員				所在地	起
委託名				業者名					終

- 構造の全景、点検の状況等を撮影すること。
- 入構時には、必ず酸素濃度測定を行うこと。
- 安全管理写真も撮影すること。

写真番号	1	写真番号	2	写真番号	3
位置記号	S-上 (市下水)	位置記号	S-上 (市下水)	位置記号	—
写真説明	全景	写真説明	KYミーティング	写真説明	入口付近酸素濃度測定
メモ		メモ		メモ	20.9% 異常なし



写真番号	4	写真番号	5	写真番号	6
位置記号	—	位置記号	S-上 (市下水)	位置記号	
写真説明	詳細調査	写真説明	距離票設置	写真説明	
メモ	調査状況	メモ	設置状況	メモ	



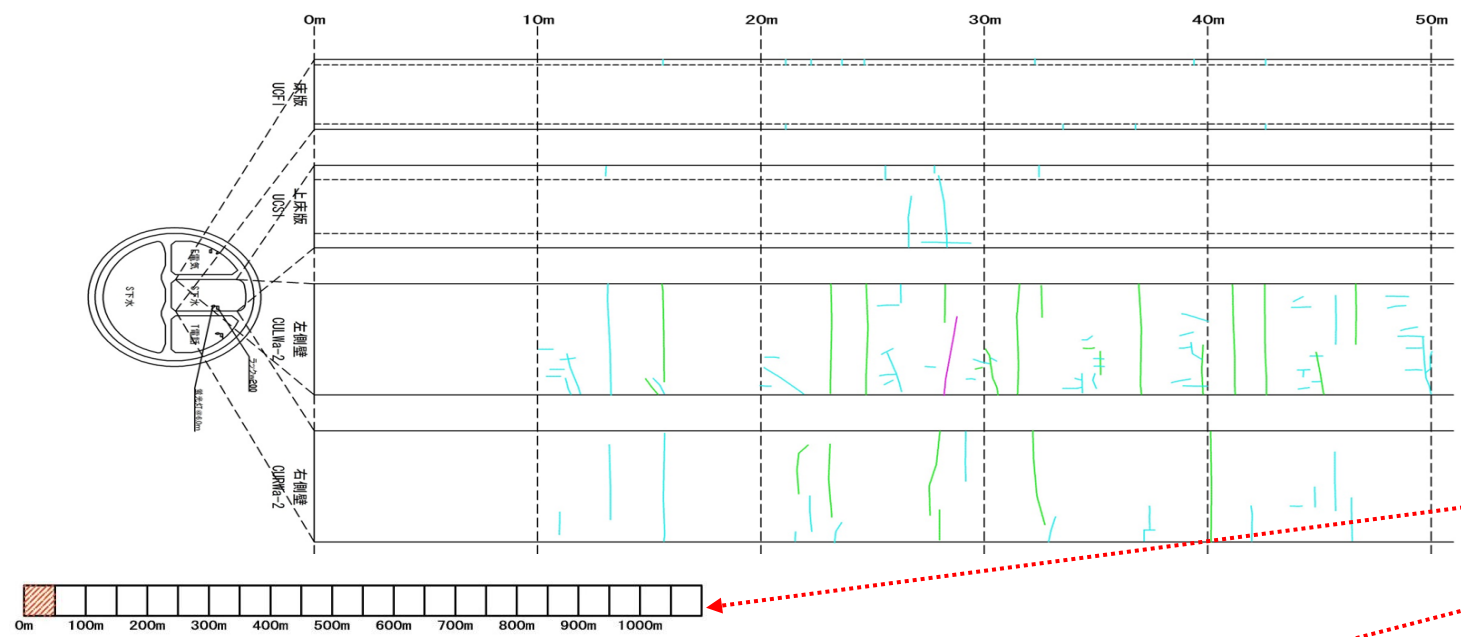


詳細点検調書（その4） 損傷図（構造物）

管理番号		工営所		路線名		監督職員		点検日	
施設名称		延長		幅員		建設年		交差対象物名称	
委託名		業者名		点検者名		所在地		起	
								終	

位置記号	S(上)0~50m	仕上状況	Co	特記事項
部材記号	UCF1, UCS1, CULWa-2, CURWa-2	構造部材の視認性	可	

損傷図（コンクリート構造物）



必ず、キープラン図を掲載する

損傷の度合、形状を記入する

1-UCF1			1-UCS1			1-CULWa-2			1-CURWa-2		
① ひびわれ	C	0.2 × 150	① ひびわれ	C	0.2 × 300	① ひびわれ	D	0.25 × 300	① ひびわれ	C	0.2 × 1200
① ひびわれ	C	0.2 × 150	① ひびわれ	C	0.2 × 400	① ひびわれ	D	0.2 × 300	① ひびわれ	C	0.25 × 300
① ひびわれ	C	0.2 × 150	① ひびわれ	C	0.2 × 750	① ひびわれ	D	0.25 × 300	① ひびわれ	D	0.3 × 1000
① ひびわれ	C	0.25 × 150	① ひびわれ	C	0.2 × 250	① ひびわれ	D	0.25 × 350	① ひびわれ	D	0.5 × 2150
① ひびわれ	C	0.2 × 150	① ひびわれ	C	0.2 × 1500	① ひびわれ	D	0.2 × 1300	① ひびわれ	C	0.25 × 200
① ひびわれ	C	0.2 × 150	① ひびわれ	C	0.2 × 1800	① ひびわれ	D	0.2 × 450	① ひびわれ	D	0.3 × 200
① ひびわれ	C	0.2 × 250	① ひびわれ	C	0.2 × 300	① ひびわれ	C	0.25 × 3100	① ひびわれ	C	0.25 × 200
① ひびわれ	C	0.2 × 150				① ひびわれ	D	0.6 × 600	① ひびわれ	C	0.2 × 400
① ひびわれ	C	0.2 × 150				① ひびわれ	C	0.2 × 500	① ひびわれ	D	0.3 × 1000
① ひびわれ	C	0.2 × 150				① ひびわれ	D	0.3 × 3100	① ひびわれ	D	0.4 × 3100
① ひびわれ	C	0.2 × 150				① ひびわれ	C	0.25 × 250	① ひびわれ	D	0.3 × 850
① ひびわれ	C	0.2 × 150				① ひびわれ	C	0.25 × 250	① ひびわれ	D	0.25 × 500
① ひびわれ	C	0.2 × 150				① ひびわれ	D	0.3 × 1100	① ひびわれ	D	0.2 × 250

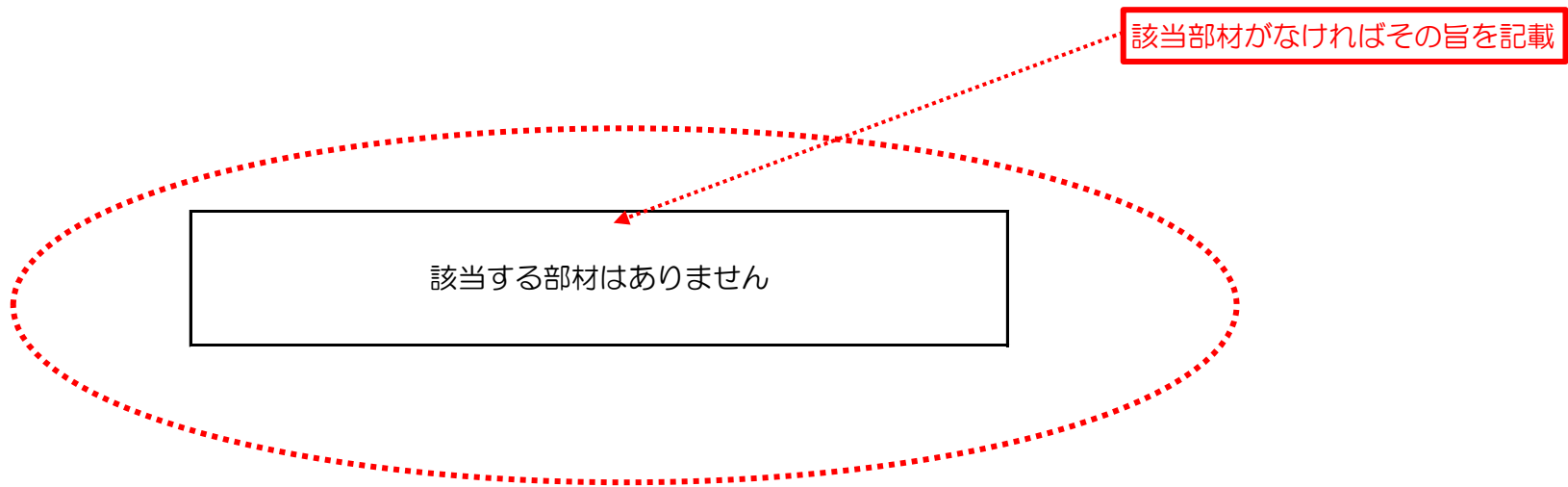
損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
① ひびわれ (~0.2mm未満)		④ うき	
① ひびわれ (0.2~0.3mm未満)		① 変形・欠損	
① ひびわれ (0.3~0.5mm未満)		② 漏水・滲水	
① ひびわれ (0.5mm以上)		③ 目地の損傷・漏水	
② 漏水・遊離石灰		⑤ その他	
③ 剥離・鉄筋露出			

詳細点検調書（その5） 損傷図（路面・排水施設）

管理番号		工営所		路線名		監督職員		点検日	
施設名称		延長		幅員		建設年		交差対象物名称	
委託名				業者名		点検者名		所在地	起 終

位置記号			仕上状況		特記事項
部材記号			構造部材の視認性		

損傷図（路面・排水施設）



損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
①ひびわれ (~0.2mm未満)		④うき	
①ひびわれ (0.2~0.3mm未満)		⑪変形・欠損	
①ひびわれ (0.3~0.5mm未満)		⑫漏水・滞水	
①ひびわれ (0.5mm以上)		⑬目地の損傷・漏水	
②漏水・遊離石灰		⑭その他	
③剥離・鉄筋露出			

詳細点検調書（その6） 損傷図（附属物・その他）

管理番号		工営所		路線名		監督職員		点検日	
施設名称		延長		幅員		建設年		所在地	起
委託名				業者名				点検者名	終

損傷図 (附属物・その他)	特記事項
	<p>該当する部材はありません</p>

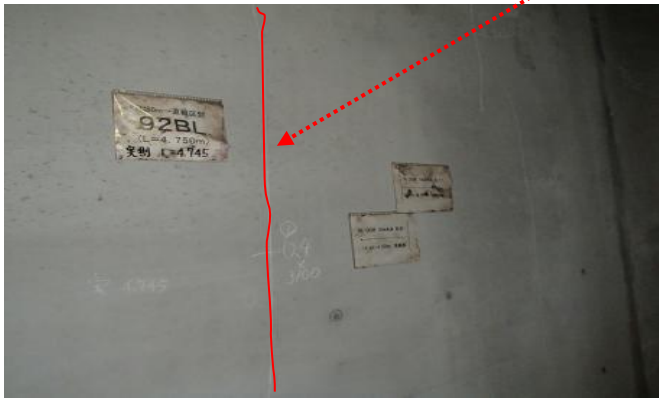
該当部材がなければその旨を記載

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
①ひびわれ (~0.2mm未満)		④うき	
①ひびわれ (0.2~0.3mm未満)		①変形・欠損	
①ひびわれ (0.3~0.5mm未満)		②漏水・滲水	
①ひびわれ (0.5mm以上)		⑤目地の損傷・漏水	
②漏水・遊離石灰		⑤その他	
③剝離・鉄筋露出			

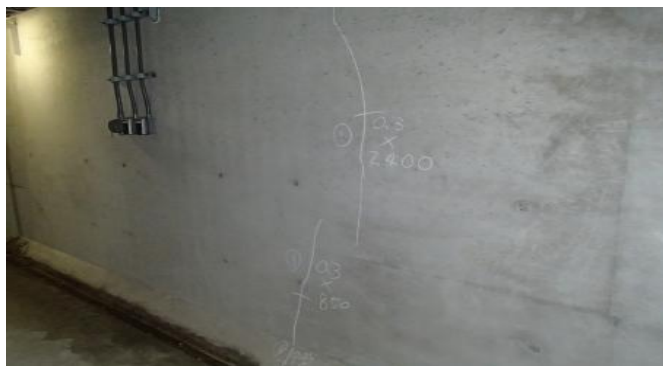
詳細点検調書（その7） 損傷状況写真							点検日		
管理番号		<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;">         ・概ね損傷の種類が偏るため、ブロック単位、部位部材単位で、          わかりやすく撮影し、工夫をすること。       </div>				点検者名		点検日	
施設名称						所在地		起	
委託名								終	

写真番号	1			写真番号	2			写真番号	3		
位置記号	S(上)0~50m	部材記号	1-CULWa-2	位置記号	S(上)0~50m	部材記号	1-CULWa-2	位置記号	S(上)0~50m	部材記号	1-CULWa-2
損傷種類	①	損傷評価	d	損傷種類	①	損傷評価	d・e	損傷種類	①	損傷評価	d
メモ	ひび割れ			メモ	ひび割れ			メモ	ひび割れ		

見え辛い場合など、写真に描画すること。



写真番号	4			写真番号	5			写真番号	6		
位置記号	S(上)0~50m	部材記号	1-CULWa-2	位置記号	S(上)0~50m	部材記号	1-CULWa-2	位置記号	S(上)0~50m	部材記号	1-CULWa-2
損傷種類	①	損傷評価	d	損傷種類	①	損傷評価	d	損傷種類	①	損傷評価	d
メモ	ひび割れ			メモ	ひび割れ			メモ	ひび割れ		





詳細点検調書（その8） 損傷結果一覧（構造物・路面・排水）

管理番号	・ 損傷の数が多くなる傾向にあるが、写真と1:1対応となることを原則とする。									
施設名称	路線名	橋名	建設年	交差対象物名称	監督職員	点検日	所在地	起	終	
委託名	業者名			点検者名			終			

E判定会議にて述べた所見等を記載  
対応区分は、修繕・措置を行う場合のみ記載

位置記号	部材記号	損傷番号	損傷部材	損傷種類	損傷評価	定量的値	(推定)	現場処置	緊急対応	維持修繕	所見
S(上) 0~50m	UCF 1	①	Co	ひびわれ	c	0.2×150	初期収縮				
S(上) 0~50m	UCF 1	①	Co	ひびわれ	c	0.2×150	初期収縮				
S(上) 0~50m	UCF 1	①	Co	ひびわれ	c	0.2×150	初期収縮				
S(上) 0~50m	UCF 1	①	Co	ひびわれ	e	0.3×800	初期収縮			iii	経過観察
S(上) 0~50m	UCF 1	①	Co	ひびわれ	e	0.25×3100	初期収縮			ii	補修対応
S(上) 0~50m	UCF 1	①	Co	ひびわれ	c	0.2×150	初期収縮				

詳細点検調書（その9） 損傷結果一覧（附属物・その他）

管理番号		工営所		路線名		監督職員		点検日	
施設名称		延長		幅員		建設年		交差対象物名称	
委託名				業者名		点検者名		所在地	起 終

位置	損傷番号	損傷部材	損傷種類	損傷評価	定量的値	要因 (推定)	対応区分			所見
							現場処置	緊急対応	維持修繕	

該当部材がなければその旨を記載

該当する損傷がありません

詳細点検調書（その10） 点検時現場処置記録

管理番号		工営所		路線名		監督職員		点検日	
施設名称		延長		幅員		建設年		交差対象物名称	
委託名				業者名		点検者名		所在地	起 終

写真番号	位置記号	部材記号	写真番号	位置記号	部材記号	写真番号	位置記号	部材記号
損傷内容			損傷内容			損傷内容		
処置理由			処置理由			処置理由		
処置内容			処置内容			処置内容		
申送事項			申送事項			申送事項		
<処置前>			<処置前>			<処置前>		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     該当する損傷がありません                 </div>					
<処置後>			<処置後>			<処置後>		

該当部材がなければその旨を記載

E判定会議調書（その11）

管理番号	工営所	路線名	監督職員	点検日
施設名称	延長	幅員	建設年	交差対象物名称
委託名	点検者名	所在地	起	終

・前回点検時の情報をそのまま転記する。

・前回点検時になかった損傷では空白でよい。

前回点検結果				前回点検結果				前回点検結果			
写真番号		位置記号	部材記号	写真番号		位置記号	部材記号	写真番号		位置記号	部材記号
損傷種類		損傷評価		損傷種類		損傷評価		損傷種類		損傷評価	
メモ				メモ				メモ			

今回点検結果				今回点検結果				今回点検結果			
写真番号		位置記号	部材記号	写真番号		位置記号	部材記号	写真番号		位置記号	部材記号
損傷種類		損傷評価		損傷種類		損傷評価		損傷種類		損傷評価	
メモ		対策判定		メモ		対策判定		メモ		対策判定	

・調書(その7)で掲載した時の写真番号をそのまま転記すること。